

令和元年度 第2回学校協議会報告

日時：令和2年2月1日(土) 13:30～15:30

会場：東大谷高等学校 多目的室1

1. 学校長挨拶

2. 協議会委員自己紹介（敬称略）

委員出席者：東 京子氏 丸岡 俊之氏 中村 俊一氏

堀川 浩氏 岡崎 正昭氏

*宮坂政宏氏は欠席

事務局出席者：長尾文孝（校長） 市居政彦（教頭）橋本壽志（指導部長）東明美（教務部長）

竹花顯（校務部長） 出水謙一郎（入試対策部長） 志藤真裕（情報部長）

吉永雅也（進路指導部長）

3. 議事

（1）現況報告

- ・学校全般
- ・大阪大谷大学薬学部高大連携プログラム
- ・令和2年度高校入試出願状況
- ・令和元年度大学入試結果

（2）今後の取り組み

①ICT教育強化

- ・令和2年度入学生よりPC(Chromebook)を活用する。
- ・校内のビジネス回線整備が完了する。
- ・全教職員が活用できるかが今後の課題である。
- ・デジタル化による時短は歓迎だが、『記憶』・『理解』においてはアナログ教育も必要ではないか。
- ・コンテンツの準備とその活用がポイントである。

②大阪大谷大学教育学部高大連携プログラム

- ・教員志望者減少の中非常に重要な取り組みである。
- ・コミュニケーション力、プレゼンテーション力の養成に注力しなければならない。
- ・薬剤師育成プログラムと同様の特典を準備している。
- ・現状では、本校の進学コースの生徒に限定し、小学校教員採用試験合格を目指す。

（3）学校評価アンケート

- ・現2年生（大学入試改革制度初年度受験生）が進路に関する指導に対して満足度が低いので、正確な情報提供に基づいた進路指導が不可欠である。
- ・家庭学習について全体的な評価が低いので、この改善が急務である。
- ・学校行事（自由度や楽しさ）に対する不満が多いので、内容や規制緩和を検討するべきではないか。
- ・宗教的情操教育が高評価（80%以上）であるのは喜ばしいことである。

（4）授業アンケートについて

- ・理数科目での苦手意識が顕著であった。改善策の一つとして、基礎的な学力（計算力）の調査、確認が必要である。また、思考する力を育成することも重要なポイントである。
- ・情報科目での授業内容の難易度が2学期以降上がったため、難しいと感じる生徒が多かった。
- ・コース別のデータを活用することによって、コース毎のより綿密な改善策が見えてくる。
- ・授業のスピードが『遅い』、難易度が『優しい』という生徒はもっと伸ばすことができる。

（5）その他

- ・令和元年度12月25日テニスコート竣工